



## 国総研資料第 1345 号 「国内空港の滑走路・誘導路に発生する変状の実態」 を刊行します

国内空港では、滑走路・誘導路の路面の安全を確保するため、定期的な点検が行われています。しかし、今後は人口減少により点検作業を行う人手の不足が懸念されており、点検の効率化が急務です。点検の効率化には、滑走路・誘導路の路面における変状の発生状況の実態を把握することが重要ですが、これまでその実態は十分に分析されていませんでした。

そこで本研究では、東京国際空港、長崎空港、鹿児島空港、松山空港を対象に、滑走路・誘導路での変状の発生状況を整理し、交通量や気象条件、変状の分布などの観点から、その発生要因について分析しました。その結果、航空機の車輪の走行位置で変状が発生しやすいこと、変状多発範囲は航空機の走行特性の違いにより異なる傾向があること等が分かりました。

### <目次>

- 第1章 はじめに
- 第2章 東京国際空港を対象とした研究の概要
- 第3章 東京国際空港の誘導路の変状発生分析
- 第4章 東京国際空港の滑走路の変状発生分析
- 第5章 長崎空港、鹿児島空港、松山空港を対象とした研究の概要
- 第6章 長崎空港、鹿児島空港、松山空港の誘導路の変状発生分析
- 第7章 長崎空港、鹿児島空港、松山空港の滑走路の変状発生分析
- 第8章 結論
- 第9章 おわりに

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先URL：<https://www.ysk.nilim.go.jp/kenkyuseika/pdf/ks1345.pdf>

### (問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 空港研究部 空港施工システム室

室長 畑 伊織 (内線：3440)

TEL：046-844-5019 E-mail：ysk.nil-46pr@gxb.mlit.go.jp